



クリスマスおめでとうございます

♪ イザヤの告げし 小さなばら、きよきマリアは、母となりぬ。♪
主の誓いの み子は生まれぬ、救いのため。



キリスト教徒にとってはクリスマスは特別に嬉しいシーズンです。

エルミタージュでの最初のクリスマスは、特別に準備する仕事がないため、今までとはずいぶん違って、静かで、穏やかで、長閑な時となりました。クリスマスの飾りつけも省略し、日常と変わらない日々を過ごしています。急にクリスマスの讃美歌を歌いたくなって、ピアノを弾きましたが、すっかり指が錆びついてしまったのが、残念！その上、自慢じゃないけれども、伴奏なしでは限りなく音痴方面へと彷徨っていくタチなのです。自分でも吹き出す！誰にも聞かせられないのです。一人密かにワンマン・ショー！ふと、気を取り直して、CDがあるじゃない！と思ったものの、コンポが故障！泣けて来て、仕方なくラジカセで聞いています。さすがプロですね。最高に楽しくなります。



今年は、息子夫婦から贈られたリヤドロの聖家族を飾ることにしました。この人形は彼らが新婚旅行でヨーロッパ方面に出かけた時のお土産の一つです。倒して割れては大変と思い、大切に箱に入れて来ましたが、飾ることにしました。

細身でシンプルな、すっきりとした形です。特にヨセフの表情がよく出ています。気高く、美しく、優しい面影の母マリアだけに目が行きがちですが、このリヤドロのヨセフはなかなかチャーミングです。

敬虔な友人は、最も大切なことはキリストが私たちの所に来て、共にいて下さることにこそ、心を集中すべきと常に言っています。本当にその通りです。このことはクリスマスにだけ特別に思うことではなく、日々のさりげない日常の中で、心にポツと灯が点るように、リアルに、感じつつ、味わいつつ、生活していきたいものだと思っています。

もう一つ、このクリスマスに求めたものは、クリスマス・ホリーの苗木です。エルミタージュの窓辺から、芝生や、落葉した桜や欒に羽を休める小鳥の姿がよく見えます。先日はベランダのジュズサンゴの赤い実をついばみに、メジロのカップルが来てくれました。友人のヒヨドリジョウゴにも小さい赤い実が付いたとの知らせがありました。来年はもっと大きな実を実らせたいと願っておられます。私たちもクリスマスにクリスマス・ホリーを楽しんだら、小鳥に楽しんでもらうためにベランダに置くつもりです。ここで静かに暮らしていると、大きな恵みを沢山与えられて、不思議な導きがあって、生かされていると、感謝の気持ちでいっぱいになります。

